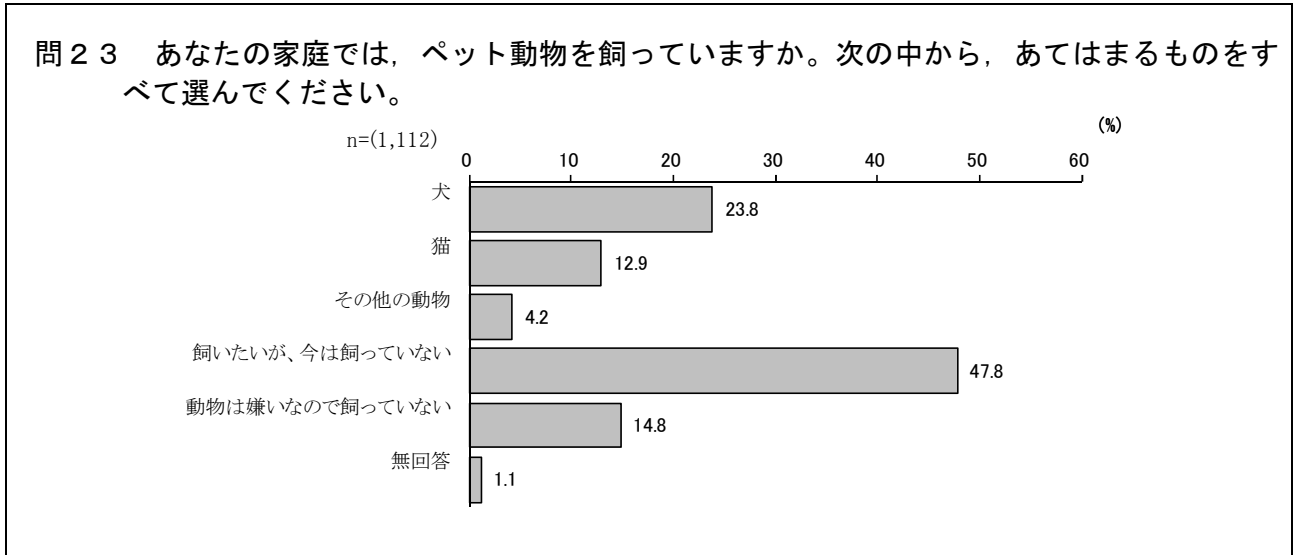


## VII 動物愛護

### 1. ペット動物の飼育状況

#### (1) ペット動物の飼育の有無

##### －「飼いたい、今は飼っていない」が約5割－



ペット動物の飼育の有無としては、「飼いたい、今は飼っていない」(47.8%)が約5割と最も高く、次いで、「犬」(23.8%)が2割台、「猫」(12.9%)が1割台が続いている。

##### －鹿行で「犬」が3割台半ば－

地域別でみると、「犬」は、鹿行(34.8%)で3割台半ばと最も高く、次いで、県央(29.5%)で約3割と高くなっている。

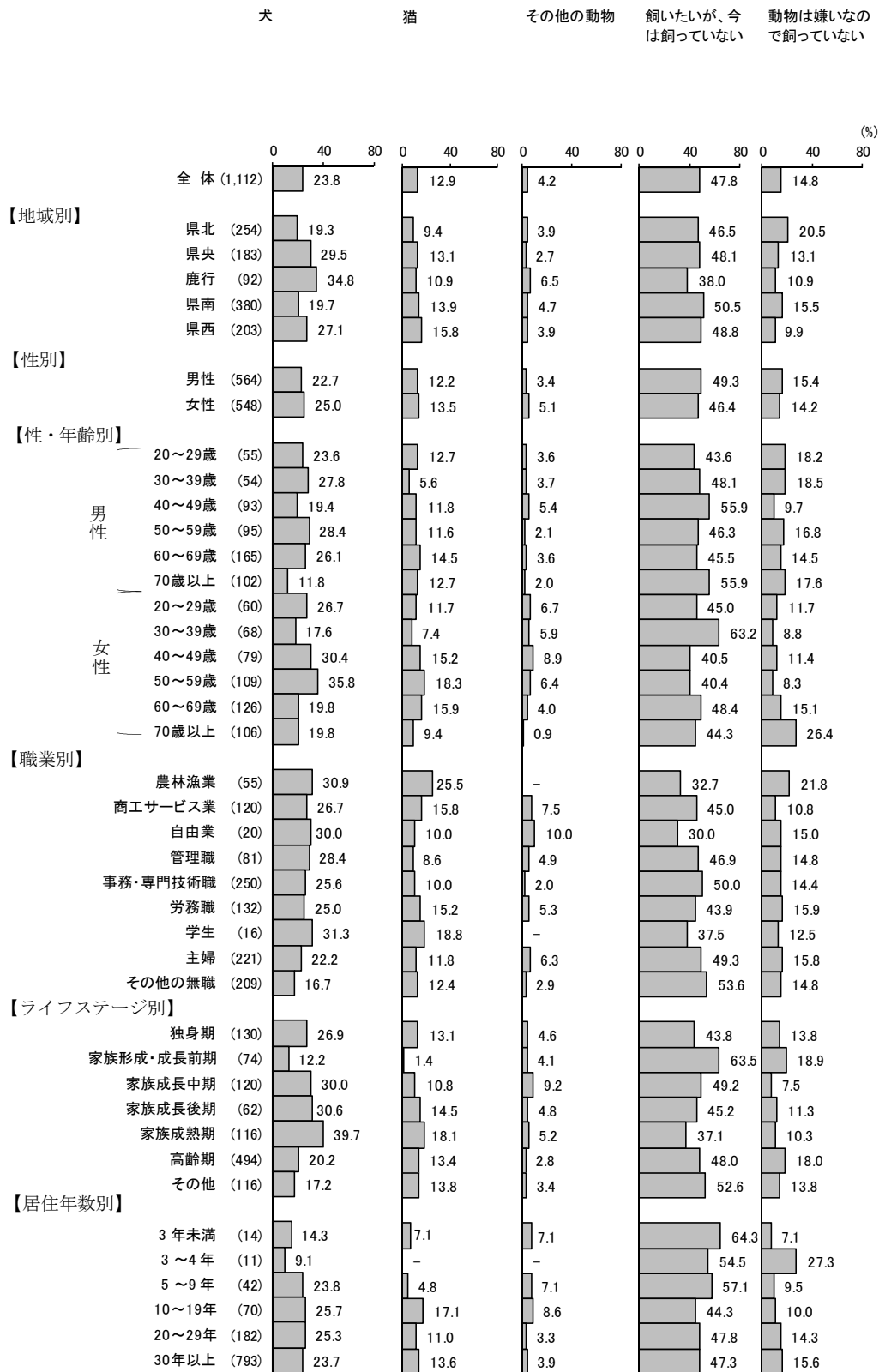
##### －女性の30代で「飼いたい、今は飼っていない」が6割台半ば－

性・年齢別でみると、「飼いたい、今は飼っていない」は、女性の30代(63.2%)で6割台半ばと最も高くなっている。

##### －女性の50代で「犬」、「猫」が高い－

性・年齢別でみると、女性の50代で、「犬」(35.8%)は3割台半ば、「猫」(18.3%)は約2割と高くなっている。

図Ⅶ 23-1 ペット動物の飼育の有無  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



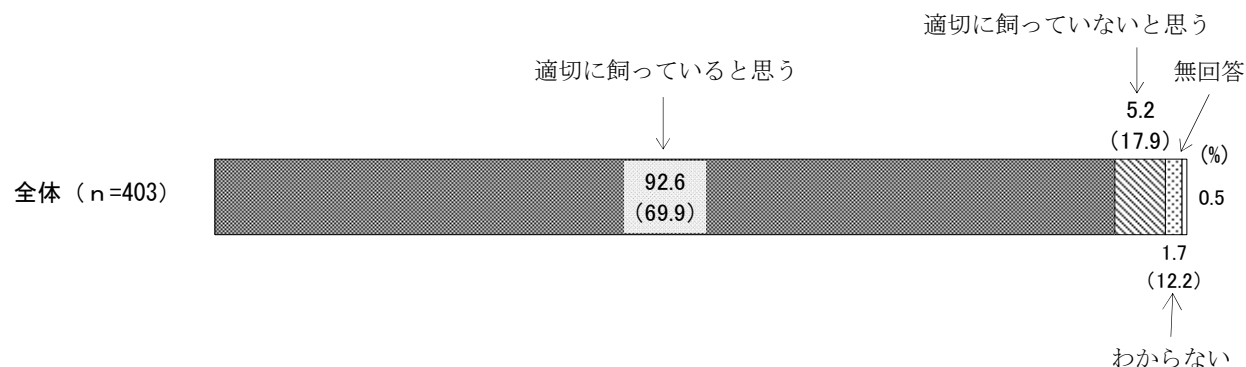
(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

## (2) ペット動物の飼育状況

### －「適切に飼っていると思う」が9割超－

(問23で「1. 犬」、「2. 猫」、「3. その他の動物」のいずれかを飼っていると回答した方のみ)

問23-1 ペット動物を飼うには、犬については登録、狂犬病予防注射をする、放し飼いしない、猫については屋内で飼うよう努めるなどといった動物の種類に応じた適切な飼い方が必要です。あなたは、ペット動物を適切に飼っていると思いますか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※( )内の数値は、平成13年の調査結果

※「適切に飼っていないと思う」は、平成13年では「他人に迷惑をかけているかもしれない」。

「犬」、「猫」、「その他の動物」を飼っている方に、ペット動物を適切に飼っていると思うか聞いたところ、「適切に飼っていると思う」(92.6%)が9割を超えて最も高くなっている。

### －「適切に飼っていると思う」が約23ポイント増加－

前回調査(平成13年)と比べると、「適切に飼っていると思う」が約23ポイント増加している。

### －鹿行で「適切に飼っていると思う」が9割台後半－

地域別で見ると、「適切に飼っていると思う」は、鹿行(97.7%)で9割台後半と最も高くなっている。

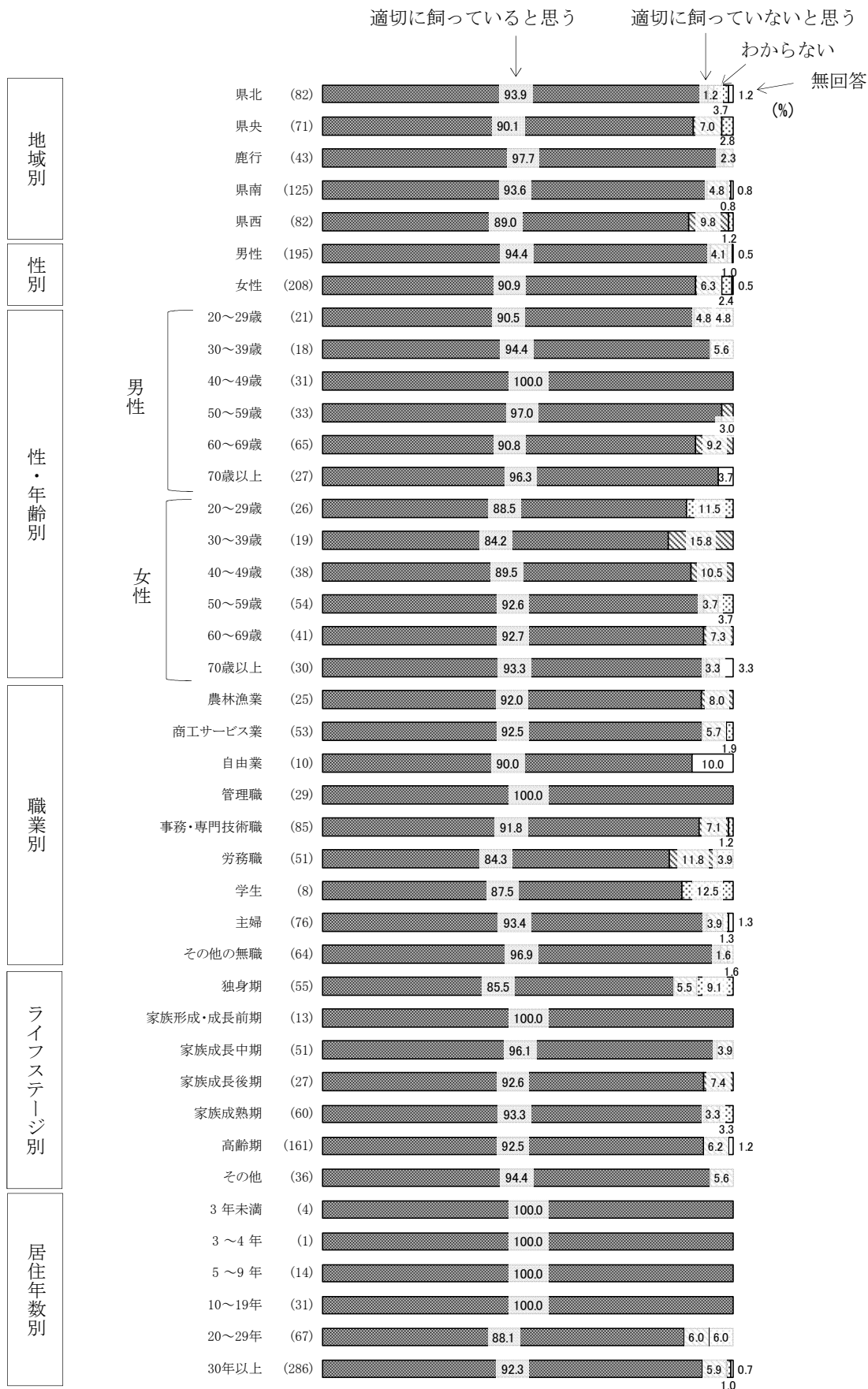
### －男性で「適切に飼っていると思う」が女性よりも約4ポイント高い－

性別で見ると、「適切に飼っていると思う」は、男性(94.4%)が女性(90.9%)よりも約4ポイント高くなっている。

### －男性の40代と50代で「適切に飼っていると思う」が約10割－

性・年齢別で見ると、「適切に飼っていると思う」は、男性の40代(100.0%)と50代(97.0%)で約10割と高くなっている。

図Ⅶ 23-1-1 ペット動物の飼育状況  
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)

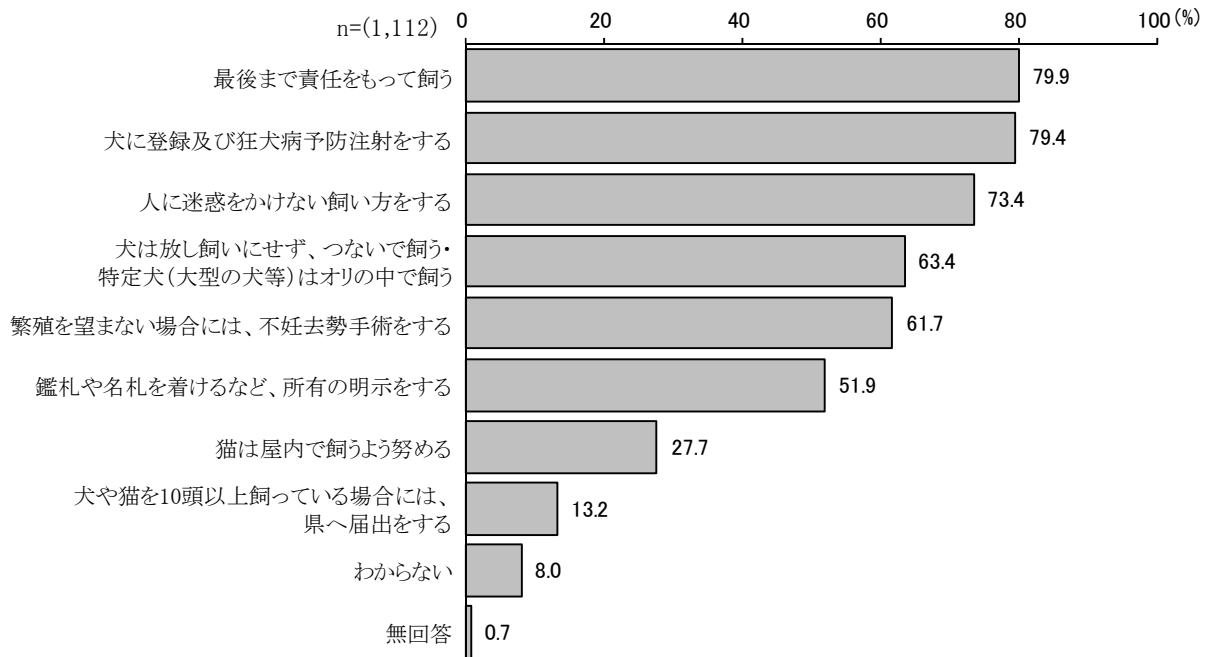


(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

## 2. ペット動物の飼い主の守るべき事項の認知状況

### －「最後まで責任をもって飼う」と「犬に登録及び狂犬病予防注射をする」が約8割－

問24 県条例では、ペット動物の飼い方のルールを定めています。あなたは、ペット動物の飼い主の守るべき事項を知っていますか。次の中から、知っている項目をすべて選んでください。



ペット動物の飼い主の守るべき事項の認知状況としては、「最後まで責任をもって飼う」(79.9%)と「犬に登録及び狂犬病予防注射をする」(79.4%)が約8割と高く、次いで、「人に迷惑をかけない飼い方をする」(73.4%)が7割台半ば、「犬は放し飼いにせず、つないで飼う・特定犬(大型の犬等)はオリの中で飼う」(63.4%)、「繁殖を望まない場合には、不妊去勢手術をする」(61.7%)が6割台で続いている。

### －県央で「最後まで責任をもって飼う」が約9割－

地域別でみると、「最後まで責任をもって飼う」は、県央(88.5%)で約9割と最も高くなっている。また、県央では、「犬に登録及び狂犬病予防注射をする」(84.2%)、「人に迷惑をかけない飼い方をする」(82.5%)、「犬は放し飼いにせず、つないで飼う、特定犬(大型の犬等)はオリの中で飼う」(68.9%)、「繁殖を望まない場合には、不妊去勢手術をする」(72.7%)は、他の地域に比べ、高くなっている。

### －女性で「繁殖を望まない場合には、不妊去勢手術をする」が男性よりも約8ポイント高い－

性別でみると、「繁殖を望まない場合には、不妊去勢手術をする」は、女性(65.9%)が男性(57.6%)よりも約8ポイント高くなっている。

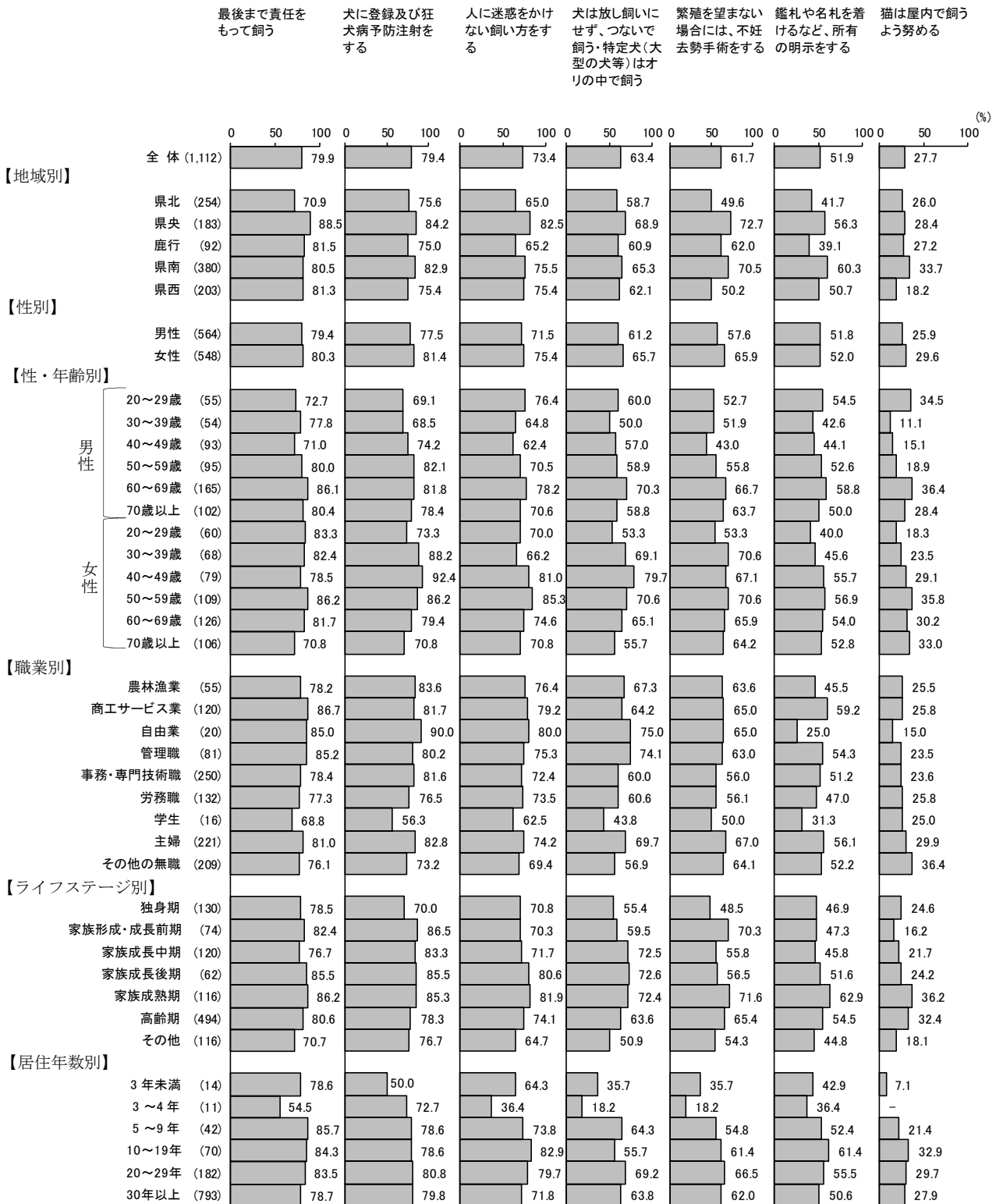
### －女性の30代から50代で「犬に登録及び狂犬病予防注射をする」が約9割－

性・年齢別でみると、「犬に登録及び狂犬病予防注射をする」は、女性の30代(88.2%)、40代(92.4%)、50代(86.2%)で約9割と高くなっており、特に女性の40代で最も高くなっている。

# 一女性の40代と50代で「人に迷惑をかけない飼い方をする」が8割台

性・年齢別でみると、「人に迷惑をかけない飼い方をする」は、女性の40代(81.0%)と50代(85.3%)で8割台と高くなっている。

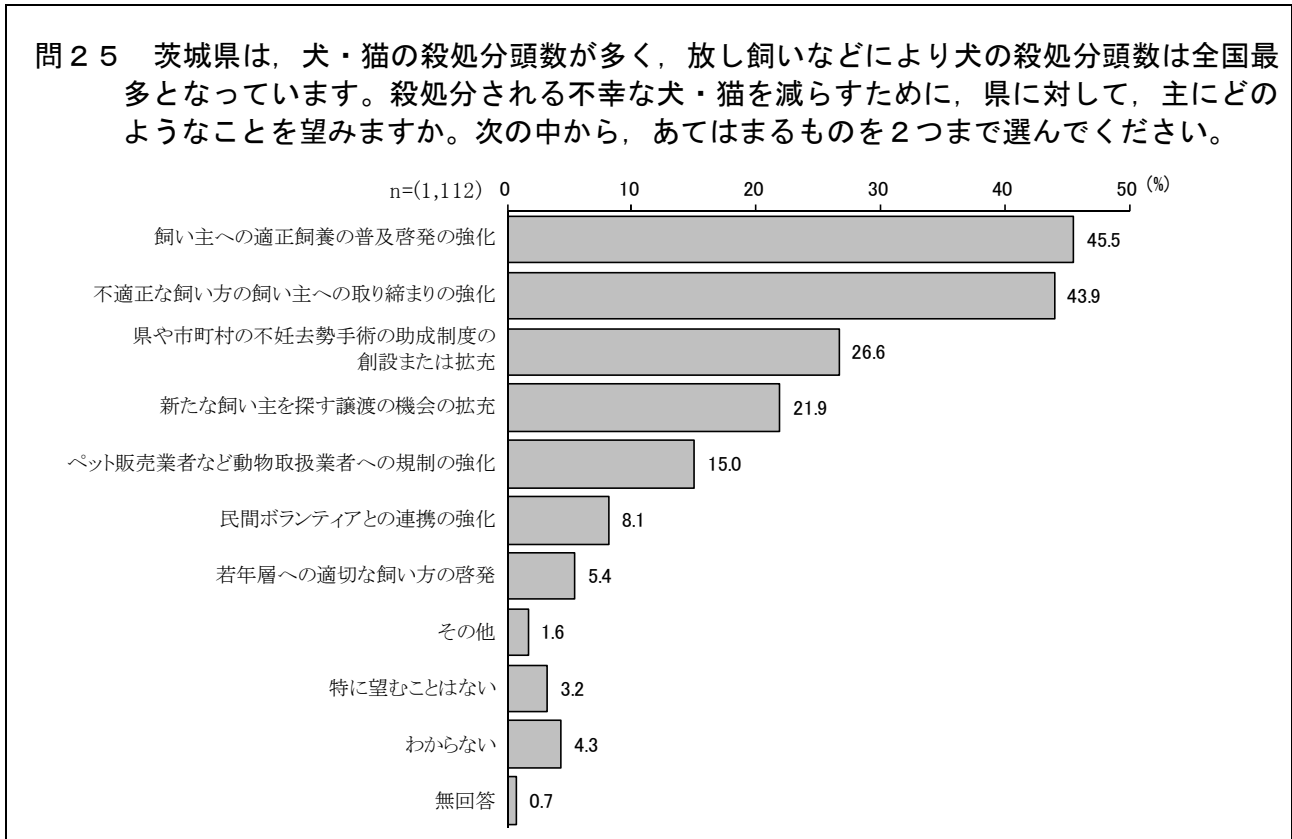
図Ⅶ 24-1 ペット動物の飼い主の守るべき事項の認知状況  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

### 3. 殺処分される犬・猫を減らすために県に対して望むこと

#### －「飼い主への適正飼養の普及啓発の強化」と「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」が4割台半ば－



殺処分される犬・猫を減らすために県に対して望むこととしては、「飼い主への適正飼養の普及啓発の強化」(45.5%)と「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」(43.9%)が4割台半ばと高く、次いで、「県や市町村の不妊去勢手術の助成制度の創設または拡充」(26.6%)、「新たな飼い主を探す譲渡の機会の拡充」(21.9%)が2割台で続いている。

#### －県西で「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」が5割台半ば－

地域別でみると、「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」は、県西(55.2%)で5割台半ばと最も高くなっている。

#### －女性で「県や市町村の不妊去勢手術の助成制度の創設または拡充」が男性よりも約9ポイント高い－

性別でみると、「県や市町村の不妊去勢手術の助成制度の創設または拡充」は、女性(31.4%)が男性(22.0%)よりも約9ポイント高くなっている。一方、「飼い主への適正飼養の普及啓発の強化」は、男性(48.2%)が女性(42.7%)よりも約6ポイント高くなっている。

#### －40代で「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」が5割超－

年齢別でみると、「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」は、40代(51.7%)で5割を超えて最も高くなっている。

#### －男性の70歳以上で「飼い主への適正飼養の普及啓発の強化」が約6割－

性・年齢別でみると、「飼い主への適正飼養の普及啓発の強化」は、男性の70歳以上(58.8%)で約6割と最も高くなっている。

一女性の20代で「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」が5割台半ば一

性・年齢別でみると、「不適正な飼い方の飼い主への取り締まりの強化」は、女性の20代(53.3%)で5割台半ばと最も高くなっている。

図Ⅶ 25-1 殺処分される犬・猫を減らすために県に対して望むこと  
(地域別, 性別, 年齢別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別—上位7項目)

